

みんなで仲良く楽しい時間を過ごそう

10月8日(金)／アグリパークゆめすぎと (大字才羽)

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言も解除され、すぎと保育園の園児たちは幼稚園バスに乗り、アグリパークゆめすぎとへ遠足に行きました。



園児たちは、滑り台等で遊んだり、お楽しみのお弁当を食べた後は、園内を散歩するなどみんなで仲良く楽しい一日を過ごしていました。

(広報特派員 坂本 吉江)



秋の実りを発見！

10月2日(土)／杉戸町内

南側用水路清流プロジェクトの皆さんが定例清掃中に、木道で自生アケビの実を発見しました。アケビは、ぱっくり口を開けた実の形から「開け実」の名がついたとされています。会員の皆さんは、アケビの甘い香りを堪能していました。

また、才羽の田口さん宅では果実棚にたわわに吊り下がった実がたくさんありました。アグリパークに出荷もしているそうです。(広報特派員 坂本 吉江)



広報すぎと令和3年11月号の訂正とお詫び

広報すぎと令和3年11月号P23「特派員レポート：河津桜が、季節外れの開花！」の掲載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤 才羽の木村さん宅 → 正 才羽の鈴木さん宅

Special Interview スポーツ煌めき人

野球を始めたきっかけは？
5歳の頃、父親と少年野球を観に行き、野球を始めた。

あこがれの野球選手はいますか？
今宮健太選手(福岡ソフトバンクホークス)です。

野球をする中で辛かったことは？
甲子園を目指して必死で行った練習や、冬練習が辛かったです。

2021年夏、甲子園(全国高等学校野球選手権大会)埼玉大会での優勝を決めた私立浦和学院高等学校(以下、浦学という)所属で広島中学校出身の浦学野球部副主将 高松 陸 選手へのインタビューの一部を紹介します。

私立浦和学院高等学校野球部副主将 3年
(杉戸町立広島中学校出身)

高松 陸 選手

PROFILE

生年月日 2003年5月6日(18歳)
出身校 杉戸第三小学校 → 広島中学校
→ 浦和学院高等学校
野球歴/ポジション 13年/サード
身長/体重 175cm/70kg
趣味・特技 スポーツ
好きな言葉 (座右の銘) 鍛錬千日 勝負一瞬



県大会2回戦(対聖望)で満塁本塁打を放つ高松選手(画像提供 産経新聞社)



伊藤教育長(当時 杉戸第三小学校長)とも再会し、激励いただきました。

問合せ 社会教育課
スポーツ振興担当 内線493
インタビュー完全版はこちらから▶



夏の県大会では2本塁打！目ざろのプレイで注意している点は？
試合前には、気持ちを100%高めますが、プレイ中は一転して冷静になるよう心がけています。

印象に残っている試合は？
今年の夏の甲子園での試合です。甲子園は他球場と大差ない大きさなのは、神聖で偉大でした。

将来の展望・夢は？
大学に進学予定ですが、これからも野球を続けたいです。

感謝の気持ちは誰に伝えたい？
支えてくれた家族、導いてくれた松井優典さん、当時東京神宮リトルシニア監督、現浦学野球部外部コーチに伝えたいです。

メッセージをお願いします。
後輩たちへ 自分たちは甲子園で校歌を歌えなかったのが、後輩たちへ

人生の大半を野球に打ち込んだ高松選手。真摯で謙虚な姿勢が印象的でした。今後の高松選手のご活躍を期待するとともに、誰かにとっての道標として、煌めき続けることを願っています。
杉戸町はこれからも「煌めく人」を応援します！

頑張りな子どもたちへ 自分は小さい頃から「甲子園に行きたい」と思いながら野球を続けてきました。あきらめずに目標に向かってやり続けられれば、必ず報われると思います。

町民の皆さんへ 次のステージでも頑張りますので、これからも、応援よろしくお願いします。
(2021年10月 役場にて)

11月6日(土)／早生次郎柿収穫作業

農のサポーターが援農支援

町特産「早生次郎柿」は、10月下旬から11月上旬にかけて収穫の最盛期を迎えます。柿農家である加藤亙さん(豊岡柿出荷組合・農業委員)より、協力依頼を受け、有償援農ボランティアとして活動しました。



農のサポーター育成塾は、農家の担い手不足等による労働力不足を解消し、持続可能な地域農業を支援することを目的としています。

11月10日(水)／すぎと居場所づくり応援隊へ寄付

子育て応援活動のために寄付をいただきました

杉戸ロータリークラブ様より、町内のひとり親家庭に食料品を無料で配布する活動を行うすぎと居場所づくり応援隊へ、現金12万円の寄付をいただきました。

福祉課・子育て支援課



(写真左から) すぎと居場所づくり応援隊 寺田代表、古谷町長、杉戸ロータリークラブ 宮田会長、大作幹事
町では、引き続き町内の希望するひとり親家庭に食料品を無料で配布する活動について支援を行っていきます。
(※写真撮影時のみ、マスクを外しました。)

11月13日(土)・14日(日)／リノベーションスクール@杉戸 スピンオフ企画

SUGITO LOCAL TRIPで日常を冒険してみよう

リノベーションまちづくり元年である今年度は、リノベーションスクールや事前講演会だけではなく、町にある資源をまち歩きや自転車で参加者が見つけ、等身大の新しいまちの地図をつくっています。

市街地整備推進室



今後、地図制作が始まります。どんな地図ができるのか楽しみに！

10月15日(金)／南放課後児童クラブ建築教室

上棟に合わせて、建物について学ぶ

杉戸第三小学校(大字堤根)にて、6年生及び南放課後児童クラブへ通所している児童を対象とした特別授業を建築工事施工者のポラテック㈱の協力により開催されました。建物の構造の勉強や実際の現場を見学し、学校内で建設されている建物に理解を深めました。

教育総務課(放課後児童クラブ担当)・建築課



建設に使用される間柱材に、子ども達の夢等を自由に書きました。

10月19日(火)／障がい者スポーツ大会2021

パラリンピック種目や軽スポーツを体験！

エコ・スポいずみ(大字木津内)にて、地域交流とスポーツ体験等による健康スポーツ普及の場の提供を目的として、パラリンピック正式種目「ボッチャ」等のお試し体験イベントを実施しました。

社会教育課



参加者は、ボッチャをはじめ、輪投げやダーツ等を体験し、充実した時間を過ごしていました。

10月30日(土)・11月6日(土)／健康講座

心と身体をほぐそう

杉戸町コミュニティづくり推進協議会(健康・青少年部会)では、自主的な健康づくり活動の推進や普及を図るため、中央公民館(杉戸三丁目)で健康講座「健康ストレッチ(入門ヨガ)」を実施しました。講座をきっかけとして、参加者同士の交流の輪が広がり、健康で活発な地域コミュニティが形成されることを期待しています。

住民協働課



参加者からは、「体を動かすきっかけづくりができました。今後も続けられればと思います。」と話していました。